

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉援助実習指導ⅡB (DB422)			担当教員	齊藤晋治・星野秀治・丸山貴志		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
精神保健福祉援助実習指導ⅡBでは精神保健福祉援助実習指導ⅡAとともに、ディプロマポリシーの到達に向け、実習、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを通して次のことを達成することをねらいとする。①精神保健福祉援助実習の意義について理解する、②精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する、③精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得する、④具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	地域生活支援と関連分野の専門職との連携、及びその具体的内容を整理・類別できる。					実習報告書及び実習報告会での発表	20%
情報収集、分析力	精神保健福祉士としての資質を知り、技能、倫理を習得し、それを表現できる。					実習報告書及び実習報告会での発表	10% 10%
コミュニケーション力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。					実習報告書及び実習報告会での発表	15%
協働・課題解決力	実習生にふさわしい態度・行動をとることができる。実習中に自身の学んだことや課題を実習指導者、教員等に伝え、次への方向を見出すことができる。					実習への取り組み	30%
多様性理解力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。					実習報告書及び実習報告会での発表	5% 10%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実習報告書は、実習体験から学んだこと、見出された課題が整理され、具体的に記述されているかを評価する。</p> <p>実習報告書では、利用者の理解に努めたか、理解に基づく支援計画立案に努めたか、計画立案において人権尊重に努めたかを評価する。実習報告とフィードバックは授業内に行う。ポートフォリオ等を通して指示する実習報告書等の提出物は、必ず期限内に提出しなければならない。</p>							
授業の概要							
<p>実習においてより深く、精神保健福祉援助に関する知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得することができるよう個別指導及び集団指導を行う。夏季の19日間の現場実習において、巡回指導または帰校日指導を行う。実習中は実習記録を毎日記述し提出する。実習後、各教員に配属し、グループ学習等を通して、感情や意識の変化、成長を振り返り、実習報告書を作成、実習報告会にて発表し、報告会での質疑応答等を加味して実習報告書を完成させる。課題レポートの発表とフィードバックは授業内に行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、60分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編（2015）『新・精神保健福祉士養成講座3 精神保健福祉援助実習指導・実習（第2版）』中央法規出版。</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：W. アンソニー他著、野中猛他監訳（2012）『精神科リハビリテーション（第2版）』三輪書店。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
報告、連絡、相談を迅速に行うこと。実習では様々な立場のたくさんの方々と出会うことになります。自分自身をしっかりと見つめながら、真摯に、誠実に、謙虚に、そして積極的に取り組んで下さい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	スケジュールを確認する。実習での体験、学びをプレゼンテーションし、ディスカッションを通して理解を深める。(齊藤・星野・丸山)	スケジュールを確認する
2	実習報告書の作成①	実習報告書、実習報告会レジュメの作成を行う。(齊藤・星野・丸山)	実習報告書を作成する
3	実習報告書の作成②	実習報告書、実習報告会レジュメの作成を行う。(齊藤・星野・丸山)	実習報告書を推敲する
4	実習報告書の作成③	実習報告書、実習報告会レジュメの作成を行う。(齊藤・星野・丸山)	レジュメを作成する
5	実習報告書の作成④	実習報告書、実習報告会レジュメの作成を行う。(齊藤・星野・丸山)	レジュメを仕上げる
6	実習報告会①	「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」履修学生に、実習準備、実習での体験と学び、実習後学習をプレゼンテーションする。(齊藤・星野・丸山)	実習までの体験、学びを振り返る
7	実習報告会②	実習報告会にて実習報告を行う。(齊藤・星野・丸山)	発表準備をする
8	実習報告書の仕上げ	実習報告会での質疑応答を振り返る。精神保健福祉援助実習の意義と、実習前後での自己の成長を確認する。(齊藤・星野・丸山)	実習報告書を仕上げる
9	実習後の振り返り①	実習での体験、個別支援計画を発表し、グループ討議を行う。(齊藤・星野・丸山)	個別支援計画を整理し、発表準備をする
10	実習後の振り返り②	実習での体験、個別支援計画を発表し、グループ討議を行う。(齊藤・星野・丸山)	個別支援計画を整理し、発表準備をする
11	実習後の振り返り③	実習での体験、個別支援計画を発表し、グループ討議を行う。(齊藤・星野・丸山)	個別支援計画を整理し、発表準備をする
12	実習自己評価	実習を振り返り自己評価を行う。「精神保健福祉士」として必要とされる知識・技術・価値観について整理する。(齊藤・星野・丸山)	実習での学びを振り返り自己評価する
13	事後学習①	実習と報告会を振り返り、精神保健福祉士として必要な知識・技術・価値観について整理する。(齊藤・星野・丸山)	更に理解を深めるべき事項を整理、学習を進める
14	事後学習②	精神障害者のおかれている現状と、その生活の実態や生活上の困難を実習体験から考え、精神保健福祉士として必要な知識・技術・価値観を学ぶ。(齊藤・星野・丸山)	更に理解を深めるべき事項とされた学習を行う
15	まとめ	一年の学びを振り返り、成長し続けるためにはどのようにすればよいか考える。(齊藤・星野・丸山)	変化・成長を振り返る